ＳＤＧｓ未来都市・志摩市

資料№.４

NEWS(PRESS) RELEASE

令和３年１０月２８日
市民生活部　大王支所

タイトル	**大王美術ギャラリー企画展「泊正徳写真展『伊勢志摩から拝(み)る富士山』」を開催します。**
概要	志摩市阿児町在住のプロカメラマン 泊 正徳（とまり まさのり）さんが、伊勢志摩の地からとらえた富士山の写真展です。 泊 正徳さんは、公益社団法人日本写真協会（PSJ）正会員、Nicon プロフェッショナルサービス（NPS）正会員で、「伊勢市から拝る富士山」「伊勢神宮の四季」「伊勢志摩の風土・風景」「志摩の海女」「安乗の人形芝居」「伊勢志摩の伝統文化」「サーフィン」「フラメンコ・ダンサー」を、主なテーマとして撮影活動をしています。 遠く伊勢志摩各地からの、神々しい富士の姿を拝（み）ていただきたいと思います。 本企画展をとおして、志摩市の芸術家を紹介し、あわせて風光明媚な志摩市の魅力を、志摩市内外へ発信し、市民の文化意識の向上と地域の振興を目指します。 【泊正徳さんより】　「伊勢志摩から拝(み)る富士山」の開催にあたって 初めて志摩から富士山を見たのは、幼いころ、自宅近くの海岸からでした。水平線に白い雪をかぶった富士山が浮かんでいました。その時は何の感動もなく、６０年が過ぎたある日、変わった形をした富士山に出会いました。富士山の水平線に近い左右が浮かんで見えます。これに興味を持ち、いろいろ調べてみました。結果、「宙に浮く富士山」は伊勢志摩の海岸線から見た時に海の上に浮きあがったように見える自然現象でした。海水と水面近くの空気との温度差によって光が屈折して起こる「蜃気楼」の一種「浮島現象」によって宙に浮いたように見えることや、観測できるエリアは、日本全国のなかでも鳥羽市の一部と志摩市だけということ等がわかってきました。 「伊勢志摩のどの地点から富士山を見ることができるだろうか。」これを機に富士山撮影が始まります。天気のいい早朝、伊勢市から志摩市の海岸線を１２年間撮影してきました。その中から、今回は４０点展示させていただきます。
開催日	令和３年１１月２５日（木）～令和３年１２月２０日（月）（２０日間） 休館日（火曜日、水曜日）を除く。（祝日は開館） ※入館料　無料 ※ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更または中止になる場合があります。 ※荒天による警報発令時は、臨時休館となります。
開催時間	９時～１７時　（最終入館は１６時３０分）、最終日は１６時閉館。
開催場所	志摩市絵かきの町・大王美術ギャラリー　２階展示室

ＳＤＧｓ未来都市・志摩市

主　　催	志摩市
参 考 Ｈ Ｐ	https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/gallery/index.html
お問合せ先	志摩市市民生活部大王支所　　担当　井上、桝屋 TEL　0599-72-4336　　FAX　0599-72-4317 e-mail　d-artgallery@city.shima.lg.jp